

分野	科目名	配当年次	開講期	
専門分野 I	基礎看護学援助技術 II	1 年次	前期	
単位数	時間	担当教員	実務経験の有無	
1 単位 (30 時間)	30 時間	東 千恵子 専任教員	有	
<b>授業の概要</b>	環境と健康との関連、看護としての環境調整の意義について学習する。それらの概念を踏まえ、ベッドメイキングの技術を修得し、快適な療養環境を整える力を身につける。			
<b>到達目標</b>	1. 看護における環境調整の意義を理解する。 2. 療養者の生活環境を調整するための看護技術を習得することができる。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 基本的なベッドメイキングができる。</li> <li>2) 臥床患者のリネン交換ができる。</li> <li>3) 患者にとって快適な療養環境を作ることができる。</li> </ol>			
<b>授業計画</b>	No.	<b>授業内容</b>	<b>授業方法</b>	<b>備考</b>
	1	生活環境とは 1) 環境と人間の関係性、生命との関連 2) 環境を構成する因子 物理的・化学的・生物的・社会的・経済的	講義 ペアワーク	
	2	環境の構成要素について 1) 採光 2) 色彩 3) 音 4) 室内気候 5) においと空気 6) プライバシー	講義	
	3	環境の構成要素 それぞれの環境構成要素を実際に測定しよう	GW	
	4	環境の構成要素 測定して分かったことをまとめて発表しよう	GW	
	5	病棟の構造と病床の条件 1) 病棟の構造、種類 2) 寝床内気候 3) 病床の条件 4) 療養者と療養環境	講義	
	6	クローズドベッドの作り方	講義	
	7	ベッドメイキングの実際 根拠を考慮して実施する	演習	
	8	ベッドメイキングの実際 手順に沿って実施する	演習	
	9	ベッドメイキングの実際 手順に沿って実施する	演習	
	10	環境整備の意義 「看護覚え書」から考える	講義・GW	
	11・12	臥床患者のリネン交換 根拠を踏まえ、手順に沿って実施する	講義・演習	
	13	環境整備の演習 事例から、環境整備の目的・方法を考える	GW	
	14	環境整備の演習 グループで考えたことを実践しよう	演習	
	15	環境整備の目的と方法 まとめ	講義	
<b>評価</b>	筆記試験 80 点 課題レポート 20 点			
<b>参考文献</b>	1) 金井一薫編著：ナイチンゲールの「看護覚え書」イラスト・図解でよくわかる！，西東社，2014 2) 藤野彰子他：看護技術ベーシック改訂版，医学芸術社，2007 3) 深井喜代子：基礎看護学技術ビジュアルブック，照林社，2010			
<b>備考</b>				